

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「ラップ・アプローチ（安定成長コース）」は、このたび、第19期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に内外の株式、債券および不動産投資信託証券を投資対象資産として分散投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第19期末(2024年10月18日)

基準価額	13,897円
純資産総額	460百万円
第19期	
騰落率	4.1%
分配金(税引前)合計	10円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

ラップ・アプローチ (安定成長コース)

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2024年4月19日～2024年10月18日

交付運用報告書

第19期(決算日 2024年10月18日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

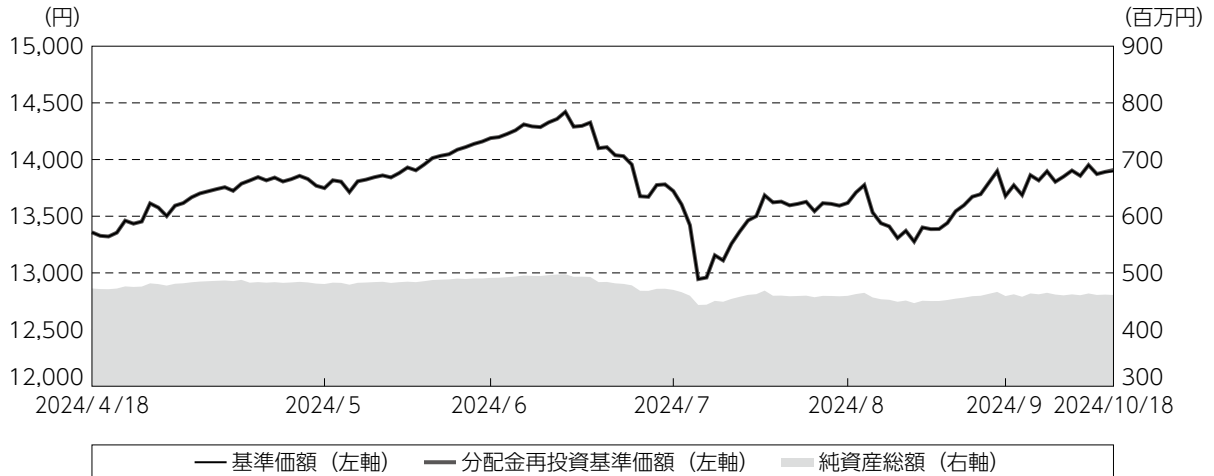
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2024年4月19日～2024年10月18日）



期 首：13,358円

期 末：13,897円（既払分配金（税引前）：10円）

騰落率： 4.1%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、期首（2024年4月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期間においては、「適格機関投資家私募A Bコクサイ・リート・ファンド」や「シュローダー先進外国株式ファンド（適格機関投資家専用）」などが基準価額に対してプラスに作用しました。その結果、当期間中の当ファンドの基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

(2024年 4 月19日～2024年10月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	83 (39) (40) (4)	0.601 (0.281) (0.292) (0.028)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	2 (2) (0)	0.014 (0.011) (0.002)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	4 (3) (1) (0)	0.030 (0.023) (0.007) (0.000)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用
合 計	89	0.645	
期中の平均基準価額は、13,761円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

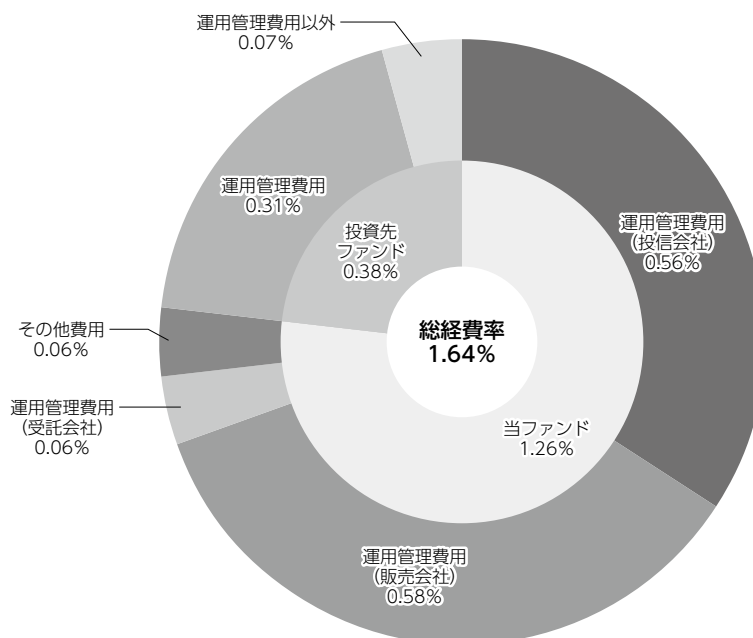
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.64%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	1.64
①当ファンドの費用の比率	1.26
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.31
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年10月18日～2024年10月18日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2019年10月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年10月18日 期初	2020年10月19日 決算日	2021年10月18日 決算日	2022年10月18日 決算日	2023年10月18日 決算日	2024年10月18日 決算日
基準価額 (円)	10,506	10,236	11,913	11,588	12,346	13,897
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	10	20	20	20	20
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.5	16.6	△ 2.6	6.7	12.7
純資産総額 (百万円)	717	593	622	665	473	460

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドは、各投資信託証券への配分比率を定期的に見直すことを基本とします。そのため、当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

投資環境

（2024年4月19日～2024年10月18日）

国内株式市場は上下に値動きの激しい展開となりました。期初から上昇基調を継続していた国内株式市場は、外国為替市場で急速な円高ドル安が進行したことをきっかけに2024年8月上旬にかけ急落しました。その後は日本銀行が緩和的な金融環境を維持する意向を示し円高の進行に歯止めがかかったことや、好調な小売統計を受け米国の景気後退に対する懸念が後退したことなどから、戻りを試す展開となりました。

先進国株式市場は上昇しました。米連邦準備制度理事会（F R B）による政策金利の引き下げや、中国当局による景気刺激策の発表等が支援材料となりました。また、人工知能（A I）の発展に対する期待感の高まり等も支援材料となりました。

新興国の株式市場は上昇しました。期初から2024年7月半ばにかけては、中国政府による不動産市場への支援策や、経済に対するソフトランディング（経済の軟着陸）への期待などを背景に、概ね上昇基調となりました。また、ラテンアメリカ諸国における利下げのほか、インドでの良好な決算や経済指標が好感されました。8月は米国の非農業部門雇用者数が市場予想を下回る内容となったことを受けて、米国の景気減速懸念が高まったことから市場が急落する局面が見られたものの、その後反転し、米国の利下げや中国の大規模な景気刺激策などが株価の上昇を支えました。

国内の債券市場は、利回りが上昇（債券価格が下落）しました。日銀が2024年7月に追加利上げに踏み切り、金融政策の正常化を進めたことから、売りが優勢となりました。ただ、欧米主要先進国ではインフレが鈍化し、各国・地域の中央銀行が金融緩和に動いたこともあり、国内市場でも海外の金利低下を受けて買いが入り、利回りが上昇幅を縮小する場面も見られました。

世界の債券市場は、利回りが低下（債券価格が上昇）しました。物価指標の伸び率鈍化等を背景に、米F R Bが金融政策を緩和方向に転換したことから、買いが優勢な展開となりました。ただ、期末にかけては、事前の市場予想を上回る経済指標の発表等を受けて、先行きの利下げの織り込みが剥落し、利回りの低下幅が縮小する場面も見られました。

新興国の債券市場は、利回りが低下（債券価格が上昇）しました。期初から2024年5月末にかけては、新興国では政策金利が高い国で金融緩和が続く一方で、サービスインフレの高止まりから一部は利下げに慎重だったほか、米F R Bの利下げ観測後退と国内インフレ再燃懸念から一部新興国では金融緩和サイクル維持への警戒感が高まったことから、新興国債券市場は方向感に乏しい展開となりました。6月以降は、インフレ圧力低下を背景に新興国の中央銀行は金融緩和姿勢を維持し、アジアでは健全な成長を維持したほか、ラテンアメリカやヨーロッパ、中東、アフリカでは低水準からの回復が見られ、新興国現地通貨建て債券市場は期末にかけて概ね上昇傾向となりました。

日本のリート市場は、2024年4月の日銀政策決定会合で金融政策が維持されたことを受けて上昇して始まりました。しかし、日銀の国債買い入れオペ減額により国内長期金利が上昇すると、6月中旬にかけて下落し、その後はもみ合う動きとなりました。8月上旬には米経済指標の悪化や円高を背景に株式市場が急落し、Jリートも大きく下落する場面がありましたが、日銀副総裁が早期の追加利上げを否定したことや決算が好感されたことから、8月末にかけて大きく反発しました。ただ9月に入ると再び下落に転じ、その後長期金利が上昇すると下げ幅を拡大しました。

世界のリート市場は上昇しました。期初から2024年9月半ばにかけては、長期金利が低下基調で推移したことや、堅調なリートの決算などが支えとなり、リートは上昇基調で推移しました。9月後半に米F R Bが利下げを決定した後は、長期金利が上昇に転じたことを受けて下落する場面がありましたが、期末にかけては、再び上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年4月19日～2024年10月18日）

各投資信託証券への配分は、目標とするリスク水準を標準偏差11%程度と設定し、各投資対象資産の長期の期待リターン、相関性等をもとに決定しました。なお、各投資対象資産の投資比率に関しては、イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社からの助言を参考にしました。

「日本連続増配成長株マザーファンド」は、連続増配期間の長さ、時価総額、信用リスク、流動性等を考慮し、成長性、バリュエーション等のほか、今後の連続増配の持続可能性を勘案し銘柄の選定を行いました。「シュローダー先進外国外国株式ファンド（適格機関投資家専用）」は、銘柄選択についてはボトムアップ・アプローチにより実質的な運用を行いました。「GIMエマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用）」は、定量モデルおよび定性判断を活用したボトムアップ・アプローチに基づき運用を行いました。「国内債券マザーファンド」は、信用リスクを抑え国債中心の運用を行いました。「世界高金利債券マザーファンド」は、北米通貨圏、ヨーロッパ通貨圏、オセアニア通貨圏のソブリン債へ各3分の1程度の割合となるように分散投資を行うとともに、投資対象通貨を複数の通貨に分散することで、金利変動リスクと為替変動リスクの軽減に努めました。「GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用）」は、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用しました。「Jリート・マザーファンド」は、個別銘柄の資産内容や信用力、バリュエーションなどを勘案し、個別銘柄の選定やウェイト付けを行いました。「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・ファンド」は、高い利回りが期待でき、かつ割安度の観点で魅力的な普通リートへの選別投資に加えて、高い利回りが期待できる優先リートへの投資により、利回りの向上を図りました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年4月19日～2024年10月18日）

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

分配金

（2024年4月19日～2024年10月18日）

当ファンドは、主として配当等収益と売買益等から分配を行います。当期は、10円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第19期
	2024年4月19日～ 2024年10月18日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.072%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,572

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<ラップ・アプローチ（安定成長コース）>

投資信託証券への投資を通じて、実質的に内外の株式、債券および不動産投資信託証券へ分散投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。目標とするリスク水準を標準偏差11%程度と設定し、イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社からの助言を参考に、検討・見直しを行います。

○日本連続増配成長株マザーファンド

国内株式市場は調整を挟みながらも上昇基調が継続すると予想しています。為替相場の動向や地政学リスクに対する不透明感などから多少の調整は想定されますが、堅調な国内景気や企業業績、割高感の無いバリュエーション、良好な株式需給などが下支えとなり、上昇基調は継続すると想定しています。当ファンドの運用につきましては、日本の連続増配銘柄（一定期間にわたり1株当たりの普通配当金が毎期増加している企業の株式をいいます。）に投資を行います。投資にあたっては、連続増配期間の長さ、時価総額、信用リスク、流動性等を考慮して投資候補銘柄を選定し、その中から、成長性や連続増配の持続可能性等を勘案のうえ組入銘柄を選別してポートフォリオを構築します。

○シュローダー先進国外国株式ファンド（適格機関投資家専用）

引き続き長期的な視点で企業の本質的な価値を分析し、“ポジティブ・グロース・ギャップ[※]”に着目した銘柄選択を行い、地域固有やセクター固有の要因によるバランスを維持した運用を継続する方針です。

※グロース・ギャップ：銘柄に対するシュローダーの中長期的な収益予想と市場コンセンサス予想との差異。

○GIMエマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用）

当ファンドは、保有株式を2024年9月中に全売却しました。

○国内債券マザーファンド

国内の債券市場は、徐々に安定した動きとなることを予想します。当面は日銀の追加利上げが警戒されて、売りが優勢な展開となることが想定されます。ただ、日本の潜在的な経済成長力を勘案すれば、大幅な利上げは見込み難しく、今回の金融政策正常化における政策金利の着地点は、低位な水準となる見通しです。このため、債券市場は次第に買いが入る展開となり、利回りの上昇は抑制されると見込んでいます。当ファンドの運用につきましては、投資環境分析、マクロ経済分析、イールドカーブ分析等に基づき、投資銘柄や期間別配分、デュレーションの決定および変更を行い、リスクコントロールを図りながら収益の獲得を目指します。

○世界高金利債券マザーファンド

世界の債券市場は、利回りの低下（債券価格の上昇）を予想します。今後もインフレの鎮静化等を背景に、先行きの金融緩和を見越した買いが優勢となることを見込んでいます。当ファンドはOECD加盟国のソブリン債（国債、政府保証債等）を主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。運用にあたっては、世界を北米通貨圏、ヨーロッパ通貨圏、オセアニア通貨圏に区分し、各通貨圏のソブリン債への投資割合は各々3分の1程度とします。また、各通貨圏において、原則として相対的に高金利のソブリン債の配分を高め、安定的な利息収入の確保を目指します。

○GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用）

マクロ経済のメインシナリオとしては、先進国経済のソフトランディングや新興国の底堅い成長を予想しており、新興国債券市場にとってポジティブな環境になると見ています。新興国ではデysinフレが進む中で利下げの余地があると見ていますが、米FRBによる利下げの動向が新興国における金融緩和のペースなどを左右する可能性があると考えます。また、フロンティア諸国の進展がファンダメンタルズの改善に寄与すると見ており、アジアの安定的な成長やラテンアメリカの回復も追い風になると見ています。このような環境下、現地通貨建て債券については、実質利回り水準が高い国を中心に、デュレーションの長期化を維持する方針です。一方、通貨については、米国金利、米ドルの動向に留意しつつ、キャリー（金利差収益）の高い通貨を選好する方針です。

○Jリート・マザーファンド

日本のリート市場は、短期的には調整色の強い展開が想定されるものの、徐々に底堅い動きになると予想します。国内の金融政策は利上げ方向にあり、米国は利下げに転じたものの経済が底堅く、利下げペースに不透明感があるため、当面は上値が抑えられると考えます。しかし、日本のリートの業績面では、オフィス市況の改善が続き、住宅や物流は賃料上昇、ホテルは宿泊単価上昇の恩恵を受けるなど堅調であり、分配金の増加が見込まれています。そのため、中長期的には業績に沿って底堅い推移になると見ています。当ファンドの運用につきましては、個別銘柄の資産内容や信用力、バリュエーションなどを勘案し、個別銘柄の選定やウェイト付けを行います。当面は投資口価格の割安感が強いと考えられる銘柄や物件入替などを通じて成長が期待できる銘柄などを東証の時価総額の構成比に対してオーバーウェイトとする方針です。一方、投資口価格の割安感が乏しいと考えられる銘柄などは、アンダーウェイトとする方針です。

○適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・ファンド

世界の普通リートおよび優先リート市場は、堅調なファンダメンタルズを維持しています。米国経済は景気回復が遅れていますが、利下げの継続はリート市場にも追い風になると見ています。当ファンドは、高い配当利回りが期待でき、かつ割安度のみならず、ディフェンシブ性・財務健全性とのバランスの観点でも魅力的な普通リートへの選別投資に加えて、高い配当利回りが期待できる優先リートへの投資により、利回りの向上を図ります。

お知らせ

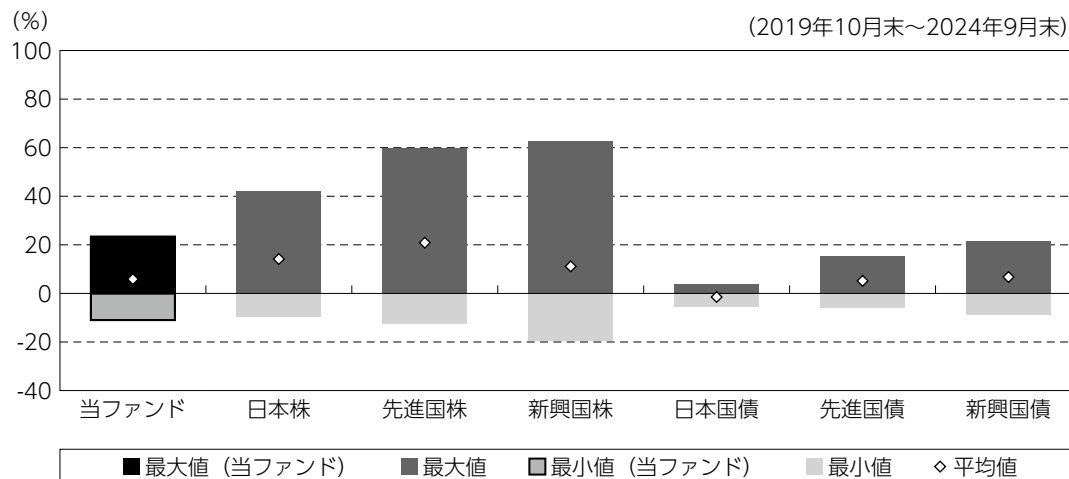
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2015年4月27日から2035年4月18日までです。	
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、実質的に内外の株式、債券および不動産投資信託証券を投資対象資産として分散投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当 フ ァ ン ド	以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 日本連続増配成長株マザーファンド シュローダー先進外国国株式ファンド（適格機関投資家専用） G I Mエマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用） 国内債券マザーファンド 世界高金利債券マザーファンド G I M F O F s用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用） Jリート・マザーファンド 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・ファンド ※主要投資対象となる投資信託証券を変更する場合があります。
	日本連続増配成長株マザーファンド	日本の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	シュローダー先進外国国株式ファンド（適格機関投資家専用）	シュローダー外国国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界（日本を除く）の株式等を主要投資対象とします。
	G I Mエマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用）	G I Mエマージング株式マザーファンド（適格機関投資家専用）受益証券への投資を通じて、世界の新興国で上場または取引されている株式等を主要投資対象とします。
	国内債券マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	世界高金利債券マザーファンド	O E C D加盟国のソブリン債（国債、政府保証債等）を主要投資対象とします。
	G I M F O F s用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用）	G I M新興国現地通貨ソブリン・マザーファンドⅡ（適格機関投資家専用）受益証券への投資を通じて、新興国の政府または政府機関の発行する債券等を主要投資対象とします。
	Jリート・マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場している（上場予定を含みます。）不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・ファンド	アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界各国（除く日本）の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	各投資信託証券への配分は、目標とするリスク水準を設定し、各投資対象資産の長期の期待リターン、相関性等をもとに決定します。 また、各投資信託証券の投資信託財産の純資産総額に対する比率は、上限を80％程度、下限を3％程度とします。 各投資対象資産の投資比率に関して、イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社から投資助言を受けます。	
分 配 方 針	毎年4月18日および10月18日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、日本連続増配成長株マザーファンド、国内債券マザーファンド、世界高金利債券マザーファンド、Jリート・マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	23.3	42.1	59.8	62.7	3.7	15.3	21.5
最小値	△ 11.0	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	5.9	14.1	20.9	11.1	△ 1.5	5.2	6.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年10月から2024年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI－KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA－BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

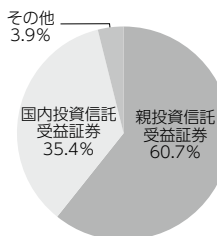
組入資産の内容

（2024年10月18日現在）

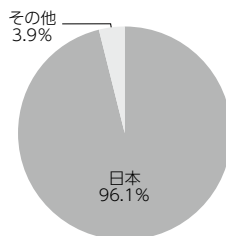
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第19期末 %
シュローダー先進外国株式ファンド（適格機関投資家専用）	24.5
国内債券マザーファンド	22.2
世界高金利債券マザーファンド	18.4
日本連続増配成長株マザーファンド	16.3
適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・ファンド	4.1
GIM FOFs 用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用）	3.9
Jリート・マザーファンド	3.8
GIMエマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用）	2.8
組入銘柄数	8銘柄

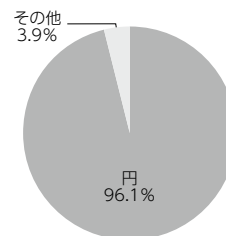
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

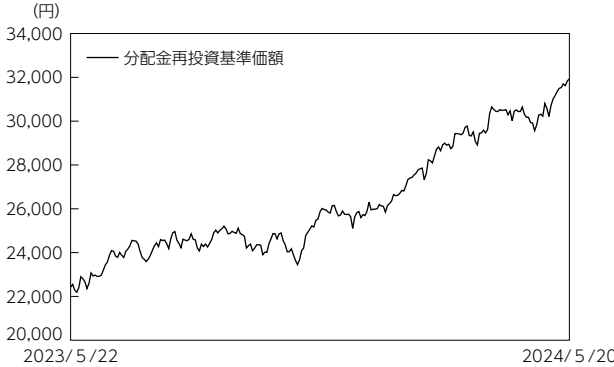
項 目	第19期末
	2024年10月18日
純 資 産 総 額	460,967,172円
受 益 権 総 口 数	331,694,551口
1万口当たり基準価額	13,897円

（注）期中における追加設定元本額は41,763円、同解約元本額は22,078,038円です。

組入上位ファンドの概要

シュローダー先進外国株式ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2023年5月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年5月23日～2024年5月20日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬	230	0.875
(投 信 会 社)	(215)	(0.820)
(販 売 会 社)	(6)	(0.022)
(受 託 会 社)	(9)	(0.033)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.006
(株 式)	(2)	(0.006)
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.012
(株 式)	(3)	(0.012)
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)
(d) そ の 他 費 用	13	0.050
(保 管 費 用)	(9)	(0.034)
(監 査 費 用)	(4)	(0.013)
(印 刷 費 用)	(0)	(0.002)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	248	0.943
期中の平均基準価額は、26,251円です。		

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

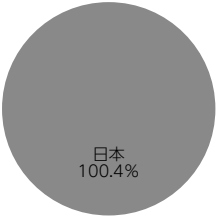
(2024年5月20日現在)

銘柄名	第8期末
シュローダー外国株式マザーファンド	% 100.4
組入銘柄数	1銘柄

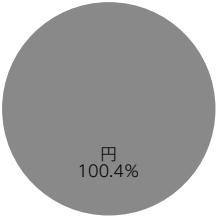
【資産別配分】



【国別配分】



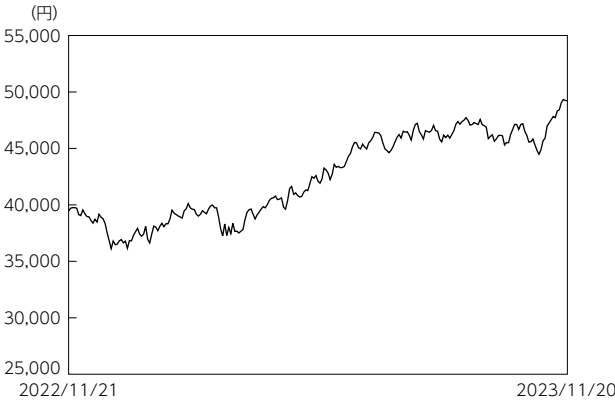
【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

参考情報：シュローダー外国株式マザーファンドの組入資産の内容

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年11月22日～2023年11月20日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	4 (4) (0)	0.009 (0.009) (0.000)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	6 (6) (0)	0.013 (0.013) (0.000)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 の 他) (そ の 他)	15 (15) (0)	0.035 (0.035) (0.000)
合 計	25	0.057
期中の平均基準価額は、42,240円です。		

- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

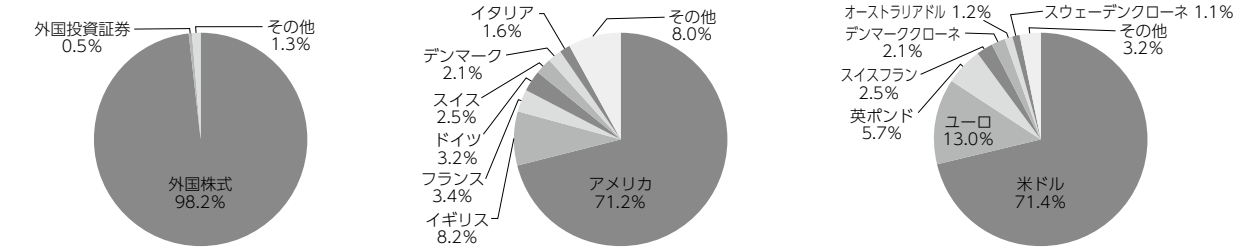
(2023年11月20日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国（地域）	比 率
					%
1	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	6.3
2	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	4.0
3	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	3.7
4	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	米ドル	アメリカ	3.0
5	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	2.3
6	SHELL PLC	エネルギー	ユーロ	イギリス	2.3
7	ELI LILLY & CO	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	2.2
8	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	米ドル	アメリカ	2.0
9	VISA INC-CLASS A SHARES	金融サービス	米ドル	アメリカ	1.7
10	META PLATFORMS INC	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	1.6
組入銘柄数			137銘柄		

【資産別配分】

【国別配分】

【通貨別配分】

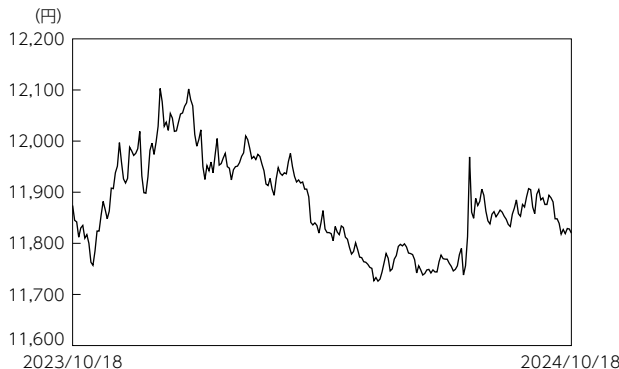


- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
- (注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国もしくは投資国（地域）を表示しております。
- (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
- (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

組入上位ファンドの概要

国内債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年10月19日～2024年10月18日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 の 費 用	0	0.000
() (そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	0	0.000

期中の平均基準価額は、11,866円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

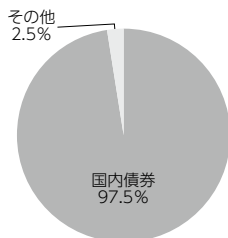
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

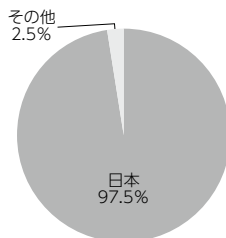
(2024年10月18日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国（地域）	比 率
					%
1	第98回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	18.4
2	第100回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	15.5
3	第189回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	14.9
4	第150回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	12.2
5	第111回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	9.4
6	第83回利付国債（30年）	国債証券	円	日本	8.9
7	第105回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	6.2
8	第91回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	6.0
9	第123回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	3.2
10	第376回利付国債（10年）	国債証券	円	日本	2.9
組入銘柄数			10銘柄		

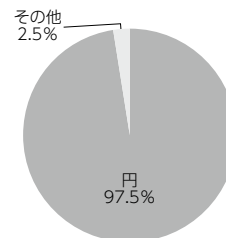
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

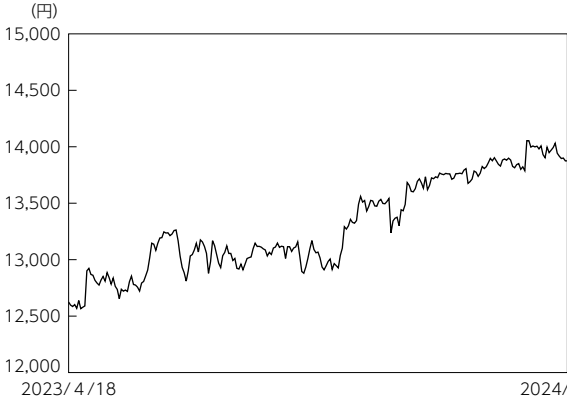
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

世界高金利債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年4月19日～2024年4月18日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	36	0.268
(保 管 費)	(35)	(0.265)
(其 他)	(0)	(0.003)
合 計	36	0.268

期中の平均基準価額は、13,290円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

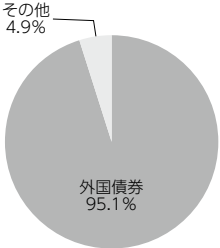
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

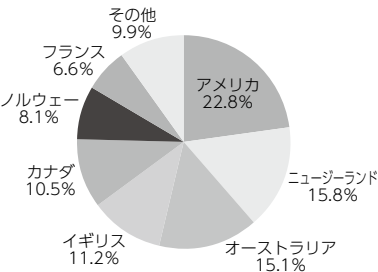
(2024年4月18日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国（地域）	比 率
					%
1	US TREASURY N/B 2.875	国債証券	米ドル	アメリカ	13.5
2	UK TSY GILT 6	国債証券	イギリスポンド	イギリス	11.2
3	US TREASURY N/B 3.625	国債証券	米ドル	アメリカ	9.3
4	NEW ZEALAND GVT 3.5	国債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	9.2
5	CANADA-GOV'T 2.5	国債証券	カナダドル	カナダ	8.3
6	AUSTRALIAN GOVT. 3.5	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	8.2
7	AUSTRALIAN GOVT. 4.75	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.8
8	FRANCE O.A.T. 5.5	国債証券	ユーロ	フランス	6.6
9	NEW ZEALAND GVT 1.5	国債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	6.6
10	NORWEGIAN GOV'T 3	国債証券	ノルウェークローネ	ノルウェー	5.9
組入銘柄数		13銘柄			

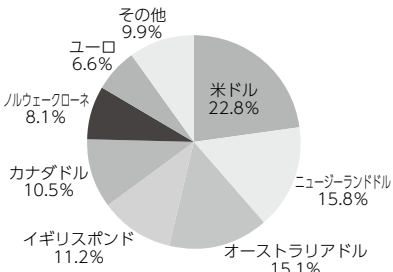
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 通貨別配分につきましては組入債券の通貨別比率を表示しております。

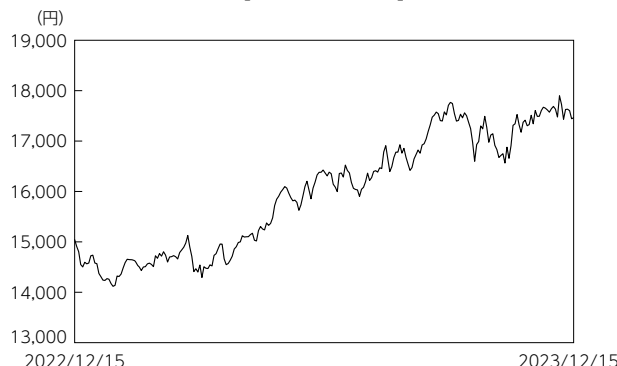
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

日本連続増配成長株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年12月16日～2023年12月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	53 (53)	0.334 (0.334)
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	53	0.334

期中の平均基準価額は、15,984円です。

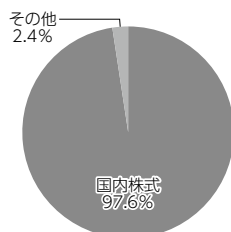
- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

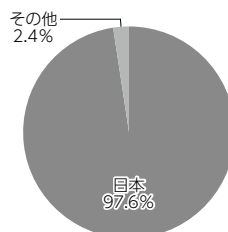
(2023年12月15日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率
					%
1	伊藤忠商事	卸売業	円	日本	4.0
2	ソニーグループ	電気機器	円	日本	4.0
3	日本電信電話	情報・通信業	円	日本	3.6
4	村田製作所	電気機器	円	日本	3.5
5	レーザーテック	電気機器	円	日本	3.3
6	日立製作所	電気機器	円	日本	3.3
7	パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	小売業	円	日本	3.2
8	山口フィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	3.1
9	東京建物	不動産業	円	日本	3.0
10	アステラス製薬	医薬品	円	日本	2.9
組入銘柄数			50銘柄		

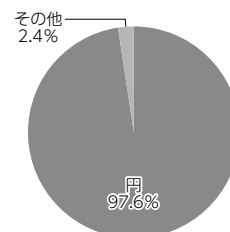
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



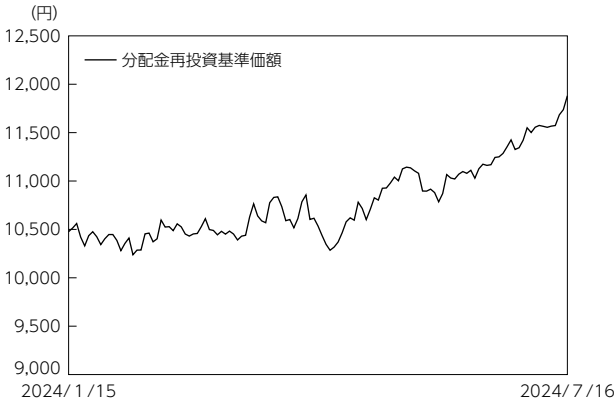
- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国を表示しております。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・ファンド

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年1月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月16日～2024年7月16日)

項 目	第128期～第133期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 託 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	37 (34) (1) (2)	0.341 (0.313) (0.005) (0.022)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	2 (0) (2)	0.023 (0.001) (0.022)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.002 (0.002)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用)	1 (0) (0)	0.005 (0.004) (0.001)
合 計	40	0.371
作成期間中の平均基準価額は、10,712円です。		

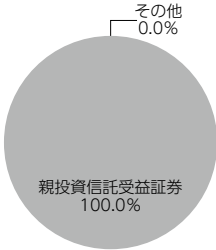
- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

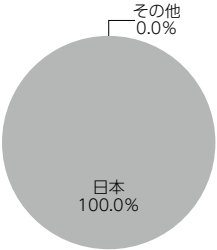
(2024年7月16日現在)

銘 柄 名	第133期末
アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・マザーファンド	% 100.0
組入銘柄数	1銘柄

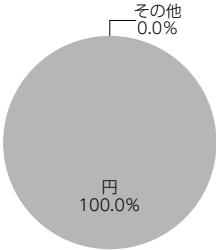
【資産別配分】



【国別配分】

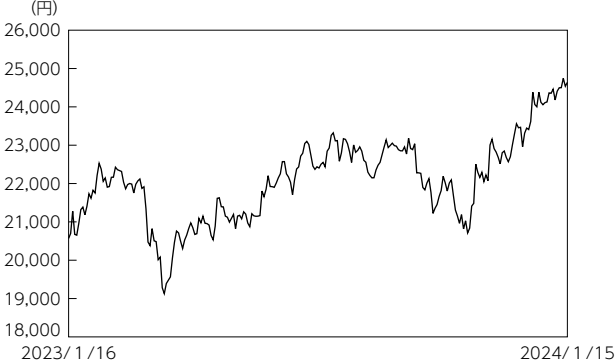


【通貨別配分】



参考情報：アライアンス・バーンスタイン・コクサイ・リート・マザーファンドの組入資産の内容

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年1月17日～2024年1月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 取 引 券)	9 (9)	0.040 (0.040)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	4 (4)	0.020 (0.020)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 の 他)	2 (0)	0.007 (0.000)
合 計	15	0.067

期中の平均基準価額は、22,065円です。

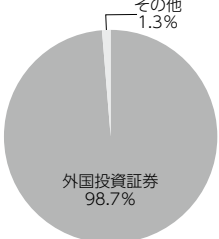
- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

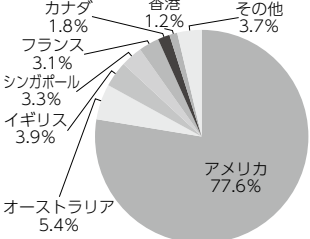
(2024年1月15日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国（地域）	比 率
					%
1	PROLOGIS INC	投資証券	米ドル	アメリカ	6.2
2	DIGITAL REALTY TRUST INC	投資証券	米ドル	アメリカ	4.1
3	SPIRIT REALTY CAPITAL INC	投資証券	米ドル	アメリカ	3.2
4	NATIONAL STORAGE AFFILIATES	投資証券	米ドル	アメリカ	3.2
5	EQUITY RESIDENTIAL	投資証券	米ドル	アメリカ	2.9
6	EQUINIX INC	投資証券	米ドル	アメリカ	2.9
7	BOSTON PROPERTIES INC	投資証券	米ドル	アメリカ	2.8
8	SIMON PROPERTY GROUP INC	投資証券	米ドル	アメリカ	2.6
9	WELLTOWER INC	投資証券	米ドル	アメリカ	2.4
10	BRIXMOR PROPERTY GROUP INC	投資証券	米ドル	アメリカ	2.3
組入銘柄数			112銘柄		

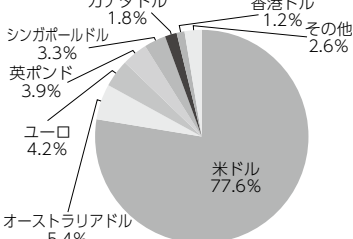
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国を表示しております。

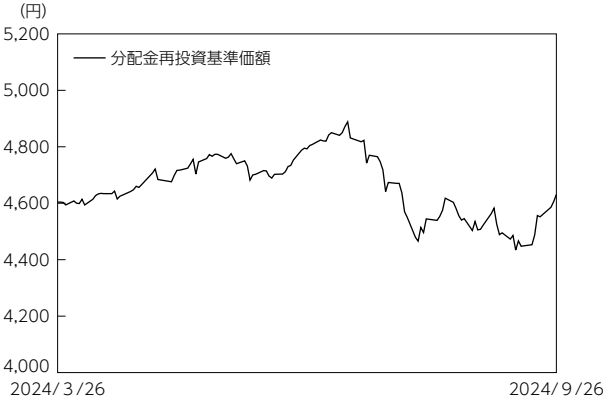
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

組入上位ファンドの概要

G I M F O F s 用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年3月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年3月27日～2024年9月26日)

項 目	第201期～第206期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬	19	0.410
(投 託 信 会 社)	(18)	(0.388)
(販 売 会 社)	(0)	(0.006)
(受 託 会 社)	(1)	(0.017)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.001
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.001)
(c) そ の 他 費 用	13	0.287
(保 管 費 用)	(12)	(0.265)
(監 査 費 用)	(0)	(0.010)
(そ の 他)	(1)	(0.011)
合 計	32	0.698

作成期間中の平均基準価額は、4,548円です。

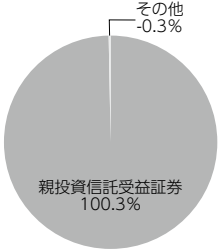
- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

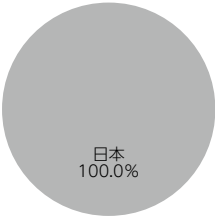
(2024年9月26日)

銘 柄 名	投資比率
	%
G I M新興国現地通貨ソブリン・マザーファンドⅡ（適格機関投資家専用）	100.3
その他	-0.3
組入銘柄数	1銘柄

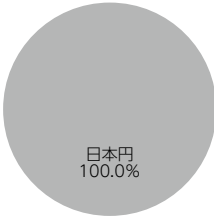
【資産別配分】



【国別配分】



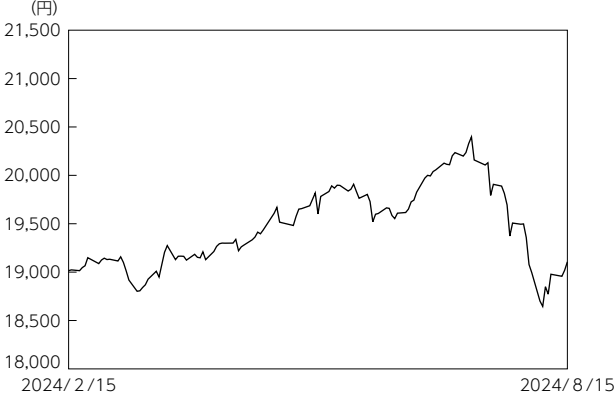
【通貨別配分】



- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
- (注) その他は現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。
- (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。
- (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

参考情報：G I M新興国現地通貨ソブリン・マザーファンドⅡ（適格機関投資家専用）の組入資産の内容

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年2月16日～2024年8月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	0 (0)	0.001 (0.001)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	53 (51)	0.274 (0.261)
(合 計)	53 (3)	0.275 (0.013)
期中の平均基準価額は、19,506円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

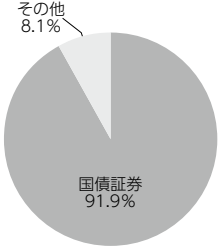
【組入上位10銘柄】

(2024年8月15日)

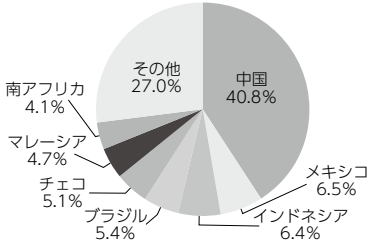
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国（地域）	比 率
					%
1	CHINA GOVT2.85%JUN27INBK	国債証券	オフショア元	中国	8.0
2	CHINA GOVT2.68%MAY30INBK	国債証券	オフショア元	中国	6.1
3	CHINA GOVT3.27%NOV30INBK	国債証券	オフショア元	中国	4.0
4	CHINAGOV2.76%MAY32 INBK	国債証券	オフショア元	中国	3.9
5	CHINAGOV3.53%OCT51 INBK	国債証券	オフショア元	中国	3.7
6	CHINA GOVT3.81%SEP50INBK	国債証券	オフショア元	中国	3.5
7	CHINAGOV2.64%JAN28 INBK	国債証券	オフショア元	中国	3.2
8	BRAZIL 10% JAN27 NTN	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	2.9
9	CHINA GOVT3.01%MAY28INBK	国債証券	オフショア元	中国	2.9
10	CHINAGOV2.67%MAY33 INBK	国債証券	オフショア元	中国	2.7
組入銘柄数		80銘柄			

(注) 先物取引は上記の対象としておりません。

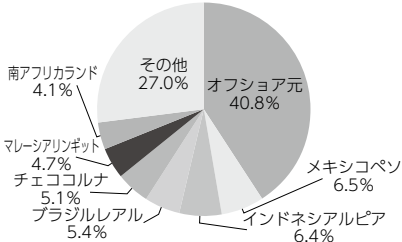
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

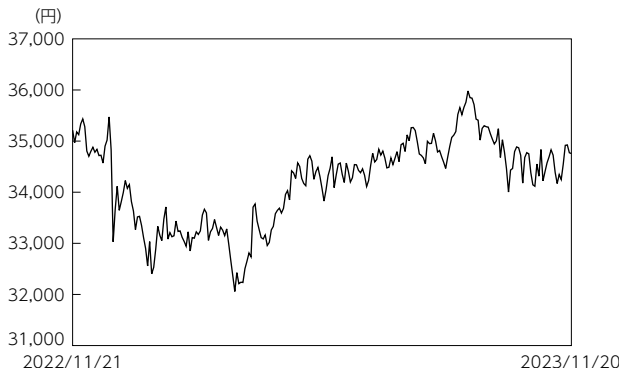


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 資産別配分のその他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です。
(注) 国別、通貨別の各配分のその他は、現金・預金・その他資産（負債控除後）を含みます。
(注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

組入上位ファンドの概要

Jリート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年11月22日～2023年11月20日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	51 (51)	0.147 (0.147)
(b) そ の 他 の 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	51	0.147

期中の平均基準価額は、34,377円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

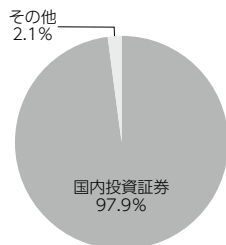
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

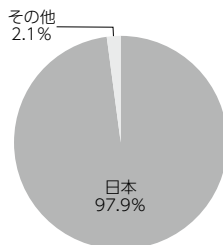
(2023年11月20日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国（地域）	比 率
					%
1	KDX不動産投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.7
2	日本ビルファンド投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.6
3	GLP投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.1
4	大和ハウスリート投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.5
5	日本プロロジスリート投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.4
6	ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.3
7	野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.3
8	日本都市ファンド投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	3.8
9	ユナイテッド・アーバン投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	3.4
10	オリックス不動産投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	3.3
組入銘柄数			51銘柄		

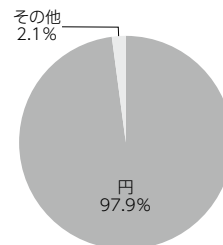
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

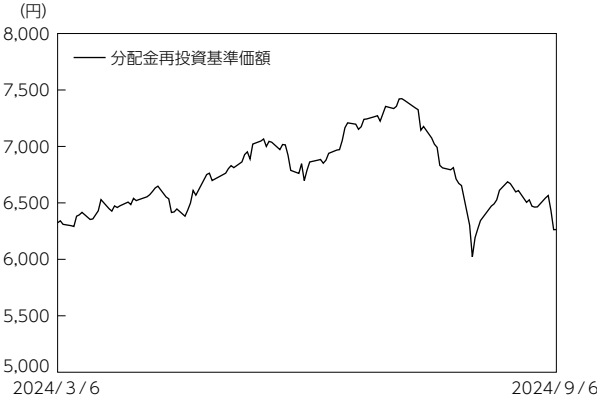
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

G I Mエマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

（2024年3月7日～2024年9月6日）

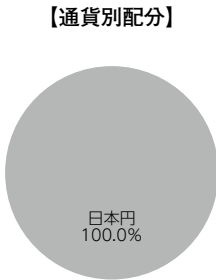
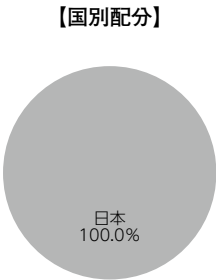
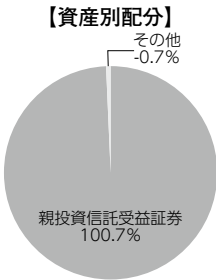
項 目	第70期～第71期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	32 (28) (0) (4)	0.477 (0.416) (0.006) (0.055)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	3 (2) (0)	0.038 (0.037) (0.001)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	3 (3)	0.043 (0.043)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	24 (5) (1) (18)	0.357 (0.077) (0.011) (0.269)
合 計	62	0.915
作成期間中の平均基準価額は、6,723円です。		

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

(2024年9月6日)

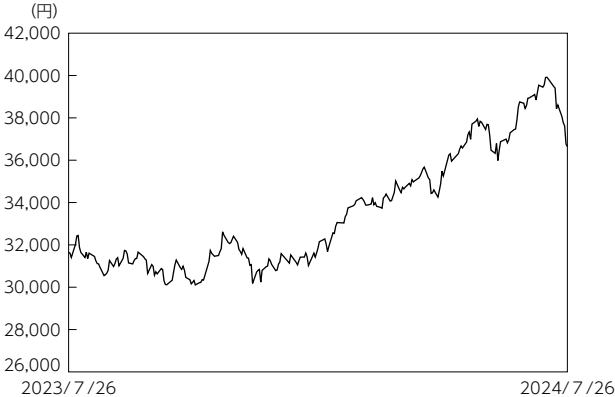
銘柄名	投資比率
G I Mエマージング株式マザーファンド（適格機関投資家専用）	100.7%
その他	-0.7%
組入銘柄数	1銘柄



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) その他は現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

参考情報：G I Mエマージング株式マザーファンド（適格機関投資家専用）の組入資産の内容

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年7月27日～2024年7月26日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	23 (23) (0)	0.070 (0.069) (0.001)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	29 (29)	0.086 (0.086)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費) (そ の 他)	168 (110) (60)	0.506 (0.330) (0.208)
合 計	220	0.662
期中の平均基準価額は、33,309円です。		

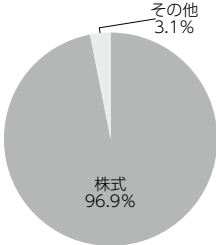
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

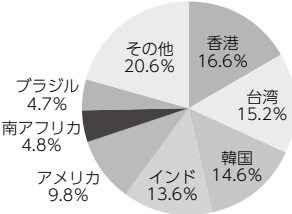
(2024年7月26日)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国（地域）	比 率
					%
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	半導体・半導体製造装置	新台幣ドル	台湾	9.5
2	TENCENT HOLDINGS LIMITED	メディア・娯楽	香港ドル	香港	6.4
3	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国ウォン	韓国	6.4
4	SK HYNIX INC	半導体・半導体製造装置	韓国ウォン	韓国	2.9
5	RELIANCE INDUSTRIES LTD	エネルギー	インドルピー	インド	2.5
6	CHINA CONSTRUCTION BANK CORPORATION-H	銀行	香港ドル	香港	2.2
7	INFOSYS LIMITED-SP ADR	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	2.1
8	KIA MOTORS CORPORATION	自動車・自動車部品	韓国ウォン	韓国	1.9
9	ASE TECHNOLOGY HOLDING CO LTD	半導体・半導体製造装置	新台幣ドル	台湾	1.9
10	INETEASE INC	メディア・娯楽	香港ドル	香港	1.8
組入銘柄数			82銘柄		

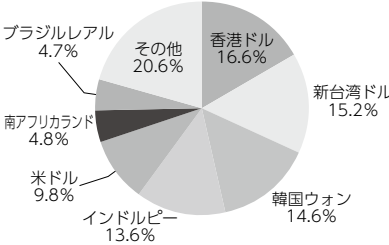
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 資産別配分のその他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です。
(注) 国別、通貨別の各配分のその他は、現金・預金・その他資産（負債控除後）を含みます。
(注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － BPI国債

NOMURA － BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。